

常任委員会行政視察報告

十月二十日～二十二日（所管事項調査）

一 愛知県田原市 「たばら21新農業プランについて」

全国的に農業後継者問題、遊休農地の増加、農産物の価格低迷などの課題がある中、農業産出額が日本一の田原市で取り組んでいる農業プランについて視察した。

日本一の農業産地を維持するため、担い手づくりを推進し、IT化による新技術への対応、ブランド化の推進、農産物輸出による経営基盤の強化、食農教育への取り組みなどを進めている。

特に強調したいのは、市・JA・農業団体が一体となって、地域農業がどうあるべきかを議論し、農業者がアイデアを出し、行政が少額ながら予算付けをして取り組んでいる「地域農業アイデア事業」を実施していることである。農業関係者が地域で自主的に戦略を立てて行っていることは、本市にとつても大いに参考にすべき点である。

二 長野県飯田市 「中心市街地活性化事業について」

飯田市は、平成に入つてから二回の市街地活性化事業を実施し、まちなか居住を重視した三か所の再開発ビルを建設するとともに、まちづくりカンパニーが主体となつた市民参加のまちづくりが進められている。



田原市役所にて

三点が挙げられる。まず、小規模連鎖型の段階的な整備を行っており、行政依存型ではなく、民間ベースで採算が合うような事業フレームを構築できている点。できるだけ多くの人間を巻き込んで、様々な団体と連携を図っている点。実験的な事業を積み重ね、まちづくりの機運を高めてから、本格的な取り組みをさせている点である。

本市の中心市街地活性化事業に大いに参考となつたが、現在進められている事業を成功させている点である。

飯田市のように行政主導ではなく、市民一人ひとりが共生の意識をもつて、まちづくりに取り組むことがカギになると思われる。

全国の中でも数少ない成功事例であり、その特色として次の三点が挙げられる。まず、小規模連鎖型の段階的な整備を行っており、行政依存型ではなく、民間ベースで採算が合うような事業フレームを構築できている点。できるだけ多くの人間を巻き込んで、様々な団体と連携を図つ

ており、その特色として次の

陳情第三号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書

（提出者）栃木県医療労働組合連合会 執行委員長 本間 栄子

陳情第五号 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）参加断固阻止に関する陳情書

（提出者）那須野農業協同組合 代表理事組合長 川嶋 寛

請願（陳情）書の書式例

内 容

1.請願（陳情）の趣旨 2.請願（陳情）の理由 平成〇年〇月〇日
請願（陳情）者 住所 氏名 大田原市議会議長あて

印

○○○に関する 請願（陳情）
紹介議員名 (陳情は不要) 印

みなさんからの請願・陳情

陳情第六号 TPP交渉参加断固反対に関する陳情

陳情第四号 （提出者）全日本年金者組合栃木県本部 執行委員長 松山 正 (陳情の趣旨) 二〇一〇年の消費者物価指数は低下傾向にあり、二〇一

二〇一一年度の年金確保及び生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める陳情

陳情第六号 （提出者）栃木県酪農協会 会長 菊池 一郎 (陳情の趣旨) 生産者が安心して酪農経営を継続発展できるよう、TPP交渉参加断固反対の決議を求めるものであります。

（提出者）生産者が安心して酪農経営を継続発展できるよう、TPP交渉参加断固反対の決議を求めるものであります。

請願・陳情はこんな方法で

- 請願（陳情）書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願（陳情）者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版をお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。